

台東区職員の皆さん 本当にありがとうございました

平成 24 年度から、姉妹都市台東区職員 11 人の皆さんが、震災からの早期復旧のため、災害派遣職員として居を移し、その能力と手腕を最大限発揮してくれました。不慣れな土地で奮闘する姿は、姉妹都市交流の歴史にしっかりと刻まれました。平成 25 年度に最後の災害派遣職員として活躍いただいた皆さんから市へエールの言葉をいただきました。



むらかみ ともふみ
村上 知史 さん

勤務 課：建設部建築住宅課
派遣期間：平成 25 年 4 月 1 日から
平成 25 年 9 月 13 日まで

甚大な災害復旧に敢然と立ち向かう大崎市の皆様のひたむきな姿に刺激を受けながらの派遣生活でした。大崎の雄大で肥沃な風土や温かい人柄に魅了された大崎ファンの一人として、迅速なる復旧を心より祈念いたします。



こしかわ きんしろう
越川 欣四郎 さん

勤務 課：建設部建築住宅課
派遣期間：平成 25 年 9 月 17 日から
平成 25 年 11 月 8 日まで

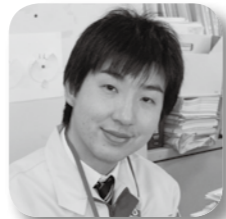
私は派遣中、大崎市の皆さんの温かさに癒されました。不慣れな私に温かく接して頂き有難うございました。私の派遣が少しでも大崎市の復興に役立てば幸いです。大崎の復興と台東区との一層の友好を祈念します。



いたや ともみ
板谷 友美 さん

勤務 課：建設部建築住宅課
派遣期間：平成 25 年 11 月 11 日から
平成 25 年 12 月 31 日まで

復興という困難な状況にありながらも、大崎市のみなさまに温かく迎えていただき、逆に私の方が励まされました。みなさまが笑顔で今年の春を迎えられることを心から願っています。本当にありがとうございました。



まえじま いさお
前島 功 さん

勤務 課：建設部建築住宅課
派遣期間：平成 26 年 1 月 1 日から
平成 26 年 3 月 31 日まで

大崎市での生活は、仕事上の経験はもちろん、大崎市の様々な魅力を体験することができる大変貴重なものとなりました。たくさんの方が大崎市を訪れてくれるよう、私が経験したことを多くの人に伝えたいと思います。



がちりど握手を交わす
吉住台東区長と伊藤市長

ゆるぎない絆 大崎市・台東区姉妹都市 締結 30 周年記念式典

昭和 59 年 1 月 14 日に旧古川市と台東区との間に姉妹都市を締結してから今年で 30 年です。これまで、観光や物産、スポーツ交流や田舎体験事業、新春寄席など、多彩に交流を行ってきました。また、東日本大震災では、救援物資や義援金など、多大なご支援をいただきました。

これまでの心通う交流をさらに発展させるため、3 月 15 日、「大崎市・台東区姉妹都市締結 30 周年記念式典」を開催しました。台東区からは、吉住弘区長(写真:左)、和泉浩司区議会議長をはじめ、長年にわたり姉妹都市交流に尽力いただいた台東区議会議員の皆さんにもご出席いただき、大崎市と台東区のゆるぎない絆を再確認しました。また、今年は交流 30 周年を記念し、台東区との共同開催による各種事業(右表参照)を展開する予定です。

問 観光交流課交流係 ☎ 23-7097

大崎市・台東区姉妹都市締結 30 周年記念事業予定

大崎市民号

内容：下記募集記事参照

たいとう区民号

内容：台東区訪問団が来訪し市民と交流予定
時期：11 月 4 日～5 日

たいとう音頭ダンスコンテストご招待

内容：古川まつりで行われる予選会優勝チームを台東区で開催される「たいとう音頭ダンスコンテスト」本戦へ招待
時期：8 月 23 日～24 日
対象：市内小学生・中学生・高校生

大崎市・台東区フォトコンテスト

内容：市と区が誇る名所の写真をそれぞれ募集。大崎市の作品を台東区で、台東区の作品を大崎市で展示

大崎市・台東区パネル展

内容：グルメ、観光、イベントなどの魅力を市民・区民それぞれへ発信

鳴子温泉まつり

内容：鳴子温泉の「湯の花」を台東区内の銭湯に配り、鳴子温泉の気分を満喫してもらう予定
時期：2 月 6 日(風呂の日)

鳴子温泉宿泊 30 周年プラン

内容：鳴子温泉郷宿泊プランに台東区小学生などを中心とした滞在プランを作成

絵画コンクール

内容：「思わず行きたくなるような魅力あるわが町」の絵で、それぞれの小学生が PR

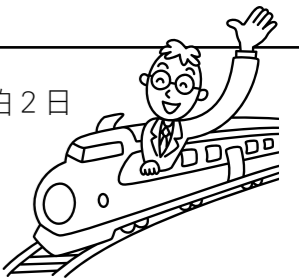


大崎市・台東区 姉妹都市締結 30 周年記念事業

大崎市民号 参加者募集

台東区との姉妹都市締結 30 周年を記念し、台東区の皆さんとの交流をよりいっそう深め、震災支援への御礼の気持ちを込め「大崎市民号」で行く、台東区への訪問団員を募集します。

日 程	7 月 5 日(土)～6 日(日) 1 泊 2 日
宿 泊	浅草ビューホテル
対 象 者	20 歳以上の大崎市民
募 集 人 数	30 人
募 集 期 間	4 月 1 日(火)～30 日(水) ※定員になり次第締め切ります。
旅 行 費 用	30,000 円(往復の新幹線チケット・宿泊代など)
旅 程	①台東区交流会 ②台東区内施設見学 ③東京スカイツリー見学 ④屋形船[夕食] ⑤台東区民と防災に関する意見交換会など
申 込 方 法	観光交流課、各総合支所地域振興課に備え付けの申込書に記入し、観光交流課へ提出してください。市ウェブサイトからもダウンロードできます。
問 合 せ	観光交流課交流係 ☎ 23-7097



市長コラム 天・地・人 姉妹都市の絆



旧古川市と東京都台東区が、新幹線開業を機に姉妹都市を締結し、今年で三十周年を迎えたことを祝って、三月十五日、台東区の吉住弘区長をはじめ、関係者をお招きして「姉妹都市締結三十周年記念式典」を開催しました。

これまでに、観光物産交流、スポーツ交流、青少年交流など、多彩な交流を継続してまいりました。

震災時には、多くの支援物資をいち早く届けてくださり、義援金や人的支援をいただくなど、姉妹都市の絆を実感し、言葉に尽くせないほど、大変感謝しております。

台東区は、江戸や浅草など江戸の文化や歴史に彩られた歴史と伝統が息づく街であり、国立博物館や美術館などもある芸術文化の街でもあります。

最近では、東京スカイツリーや東京マラソンコース

などの話題でも名を馳せ、伝統と現代、夢がマッチした魅力あふれる街です。今年、台東区とのさまざまな交流事業を計画しております。市民皆様には姉妹都市を深く知り、交流の絆が一層深まることを期待しております。

大崎市では、歴史の共有や自然環境の類似、産業の結びつきなどがきっかけとなり、台東区のほかに、北海道当別町、愛媛県宇和島市、山形県遊佐町、大阪府田尻町、山形県酒田市(旧松山町)、横浜市港南区との交流があります。さらには米国ダブリン市やミッドルタウン市、中国鄭州市(金水区)との海外交流もあり、災害支援を契機に締結した十五の相互応援協定自治体もあります。

復旧から復興へ！市民の心の中に夢と平和の芽を築くための交流を促進してまいりましょう。

大崎市長 伊藤康志